

# 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月4日

上場会社名 新内外綿株式会社

上場取引所 大

コード番号 3125 URL <http://www.shinnaigai-tex.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 福井 眞吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 葛原 三治

TEL 06-4705-3781

四半期報告書提出予定日 平成21年8月6日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年3月26日～平成21年6月25日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,166	△28.6	93	△42.0	89	△43.5	52	△43.2
21年3月期第1四半期	1,633	△12.5	160	6.8	158	10.3	91	16.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2.67	—
21年3月期第1四半期	4.70	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	4,140	2,132	51.5	108.98
21年3月期	4,243	2,120	50.0	108.34

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,132百万円 21年3月期 2,120百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		0.00	—	2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年3月26日～平成22年3月25日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	2,400	△18.6	149	△34.9	142	△36.3	81	△36.7	4.14
通期	4,800	△8.8	294	△14.1	280	△14.4	160	△26.0	8.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 19,598,000株 21年3月期 19,598,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 27,438株 21年3月期 26,670株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 19,571,082株 21年3月期第1四半期 19,576,189株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年9月の金融危機以降急速に悪化した景気に下げ止まりの動きが見られるものの、企業収益の悪化は続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、厳しさは増しております。

このような状況のもとで、当社グループ紡績部門におきましては、「はやいや〜ん」と名づけた小ロット・多品種・短納期生産販売システムの活用と全国繊維産地巡回展示会開催等による新たな販路開拓に努めましたが、同部門の売上高は7億14百万円となりました。テキスタイル・製品部門におきましても、ニット分野は、当社の得意とするテンセル素材を中心に、国内生産をベースに強みを生かした商品に特化、織物分野でも、同じくテンセル素材等による差別化と中国オペレーションでの優位性強化、製品分野におきましても、ミセスブランド中心に販売基盤を構築、販売規模の維持に努めましたが、同部門の売上高は4億52百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は11億66百万円となり、利益面におきましても営業利益は93百万円、経常利益は89百万円となりました。法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額計37百万円を計上しました結果、当期純利益は52百万円となりました。

また、財務体質の改善につきましても、長短借入金に割引手形を含めた有利子負債の圧縮を図りました結果、有利子負債は2億85百万円となり、前連結会計年度末比75百万円の圧縮ができました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末比1億3百万円減の41億40百万円となりました。これは主として棚卸資産の減少によるものであります。負債につきましては、前連結会計年度末比1億15百万円減の20億7百万円となりました。これは主として長短借入金・未払法人税等の減少によるものです。純資産につきましては、前連結会計年度末比12百万円増の21億32百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は51.5%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の連結ベースの現金及び現金同等物は、69百万円となり、前連結会計年度末比44百万円減少いたしました。

連結キャッシュ・フローの状況は、次の通りであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1億5百万円となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益(89百万円)、棚卸資産の減少(1億7百万円)による増加と、法人税等の支払い(98百万円)等による減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、39百万円となりました。  
これは主として、有形固定資産の取得によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億11百万円となりました。  
これは主として、長短借入金の返済(75百万円)及び配当金の支払(35百万円)によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期及び第2四半期連結業績見通しにつきましては、売上高は48億円(第2四半期連結累計期間24億円)、経常利益は2億80百万円(同1億42百万円)、当期純利益は1億60百万円(同81百万円)となる予想であります。これは、平成21年5月7日に発表しました予想対比で、売上高のみ販売環境悪化により9.4%(同9.8%)下方修正しております。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

##### ②四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### ②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間から、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を適用し、評価基準については、移動平均法による原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

これに伴う損益への影響はありません。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正（所得税法等の一部を改正する法律 平成20年4月30日 法律第23号）を契機に、当第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数の見直しを行っております。

この変更による損益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月25日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月25日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	69,229	113,677
受取手形及び売掛金	1,209,610	1,091,684
商品及び製品	335,521	430,991
仕掛品	53,047	45,553
原材料及び貯蔵品	149,229	168,733
繰延税金資産	34,463	42,897
その他	20,072	63,197
貸倒引当金	△4,410	△4,518
流動資産合計	1,866,764	1,952,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,743,676	1,743,676
減価償却累計額	△1,484,177	△1,476,658
建物及び構築物(純額)	259,498	267,017
機械装置及び運搬具	2,195,591	2,191,282
減価償却累計額	△2,012,994	△1,998,848
機械装置及び運搬具(純額)	182,596	192,434
土地	1,702,657	1,702,657
その他	129,176	128,132
減価償却累計額	△114,988	△113,732
その他(純額)	14,188	14,399
有形固定資産合計	2,158,941	2,176,508
無形固定資産		
	648	648
投資その他の資産		
投資有価証券	2,423	2,055
関係会社出資金	35,201	35,201
長期貸付金	3,378	3,409
繰延税金資産	73,188	72,372
その他	27,826	29,383
投資損失引当金	△24,939	△24,939
貸倒引当金	△3,200	△3,200
投資その他の資産合計	113,880	114,284
固定資産合計	2,273,470	2,291,442
資産合計	4,140,234	4,243,658

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月25日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月25日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	652,585	606,309
短期借入金	285,800	346,200
未払法人税等	31,355	101,846
賞与引当金	12,600	39,097
その他	147,087	139,512
流動負債合計	1,129,428	1,232,966
固定負債		
長期借入金	—	14,700
退職給付引当金	177,871	175,593
長期未払金	9,000	9,000
再評価に係る繰延税金負債	691,052	691,052
固定負債合計	877,924	890,346
負債合計	2,007,353	2,123,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	731,404	731,404
利益剰余金	393,674	380,563
自己株式	△2,739	△2,675
株主資本合計	1,122,339	1,109,292
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△593	△681
繰延ヘッジ損益	88	686
土地再評価差額金	1,011,047	1,011,047
評価・換算差額等合計	1,010,542	1,011,053
純資産合計	2,132,881	2,120,345
負債純資産合計	4,140,234	4,243,658

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月26日 至 平成21年6月25日)
売上高	1,166,998
売上原価	900,620
売上総利益	266,377
販売費及び一般管理費	173,346
営業利益	93,031
営業外収益	
受取利息	476
受取配当金	69
その他	474
営業外収益合計	1,020
営業外費用	
支払利息	1,394
手形売却損	1,355
貸貸収入原価	795
為替差損	558
その他	411
営業外費用合計	4,515
経常利益	89,536
税金等調整前四半期純利益	89,536
法人税、住民税及び事業税	29,316
法人税等調整額	7,966
法人税等合計	37,282
四半期純利益	52,253

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月26日 至 平成21年6月25日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	89,536
減価償却費	22,920
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△108
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,277
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,497
受取利息及び受取配当金	△545
支払利息	1,394
為替差損益 (△は益)	△630
売上債権の増減額 (△は増加)	△117,926
たな卸資産の増減額 (△は増加)	107,479
未収入金の増減額 (△は増加)	45,420
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,272
仕入債務の増減額 (△は減少)	37,005
未払金の増減額 (△は減少)	12,598
未払費用の増減額 (△は減少)	14,479
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	20,099
小計	205,230
利息及び配当金の受取額	545
利息の支払額	△1,290
法人税等の支払額	△98,629
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,856
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△40,076
投資有価証券の取得による支出	△219
長期貸付金の回収による収入	31
その他	374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,889
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の返済による支出	△30,000
長期借入金の返済による支出	△45,100
自己株式の取得による支出	△63
配当金の支払額	△35,880
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,044
現金及び現金同等物に係る換算差額	630
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△44,447
現金及び現金同等物の期首残高	113,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	69,229



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当社グループは、専ら繊維事業及びこれに付帯する事業を営んでいますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

〔所在地別セグメント情報〕

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

〔海外売上高〕

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成20年3月26日～6月25日)

科目	前年同四半期 (平成21年3月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	1,633
II 売上原価	1,283
売上総利益	350
III 販売費及び一般管理費	190
営業利益	160
IV 営業外収益	7
V 営業外費用	9
経常利益	158
VI 特別利益	—
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純利益	158
税金費用	66
四半期純利益	91

## (2) セグメント情報

## 〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(平成20年3月26日～6月25日)

当社グループは、専ら繊維事業及びこれに付帯する事業を営んでいますので、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

## 〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(平成20年3月26日～6月25日)

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報は記載していません。

## 〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(平成20年3月26日～6月25日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。